

パラアスリート選手
インタビュー企画
～第2弾～

東京 2020 パラリンピック ボッチャ 銀メダリスト

かわもと けいすけ

河本 圭亮 選手



- ◇1999 年生まれ。名古屋市出身
- ◇愛知県立港特別支援学校卒業
- ◇東郷町施設サービス株式会社 所属

ボッチャ日本代表「火ノ玉ジャパン」

メンバーの河本選手。東京 2020 パラリンピック

では、ペア戦 BC3 で銀メダルを獲得し、話題となりました。

今回は、ボッチャの魅力に迫りながら、河本選手の強さの秘密や今後のパラリンピックに向けての考えなどについて、インタビューさせていただきました！

ボッチャを始めたきっかけを教えてください。

小学低学年の時に、愛知県筋ジストロフィー協会の企画するいろいろな障害者スポーツを行うサマースクールでボッチャと出会いました。

体験したらとても面白く、仲間たちとはまっています。



ボッチャの楽しいところを教えてください。

ボッチャは1球で逆転できるので最後の1球まで勝敗がわからないところや、ルールは複雑ではないが戦略は何万通りもあって状況によって使い分けをするところ。

選手によってボールや戦略が違うので、人それぞれのボッチャスタイルを作れることが魅力です。

目標を達成していくために取り組んでいることや大切にしていること、普段から心がけていることを教えてください。

長期目標・短期目標を定期的に立て、そのために必要な能力や練習メニューを考えて実行しています。

また、ボールを使った練習以外の時間の使い方を有意義にできるよう意識しています。

ボッチャが出来るのはたくさんの方のお陰なので、常に感謝の気持ちを忘れずに過ごしています。



©Tomokazu Matsukawa



苦しいことや、つらかったとき、どのようにして乗り越えてきましたか。

その都度初心に戻り、何のためにやっているのか？どこを目指しているのか？を振り返って、気持ちを切り替えています。

壁にぶつかったときには、いろいろな人に話して相談したりヒントをもらったりして、乗り越える材料をもらっています。特にアシスタントとは、たくさんコミュニケーションをとり、情報共有をするよう意識をしています。



©Tomokazu Matsukawa

銀メダルを獲得したその勝因を教えてください。

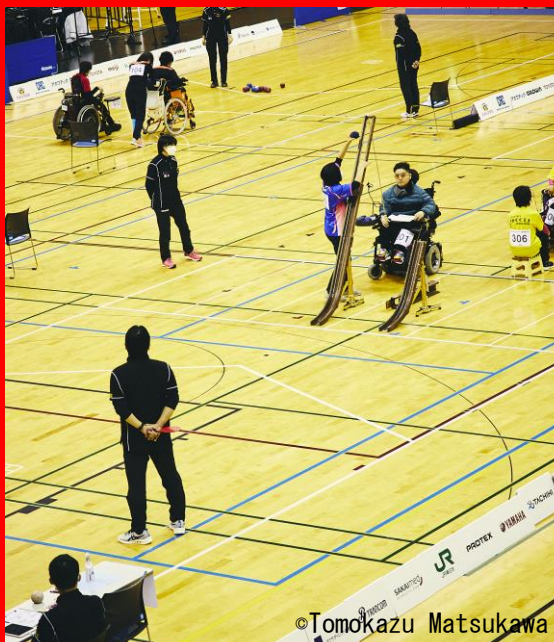
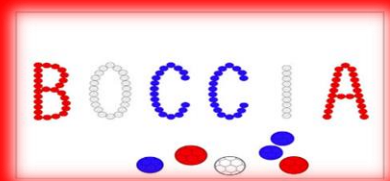
混合ペアの3人全員が優勝したいと常に思って練習してきたからです。

大会では緊張する場面がたくさんありましたが、ジャック位置やボール構成を床の環境、相手のボールなどに上手く適応した変更が練習通りにできたことが勝因だと思います。

東京パラリンピックは河本さんから見てどのような世界でしたか。

ボランティアさんや警備員さん、移動車のドライバーさんなど、多くの方々のサポート・協力で開催されていることを改めて感じました。

そして、様々な国から各競技のトップ選手たちが参加していて、一人一人障害やできることは違うけれど、高みを目指して共に競い合い認め合う、そんな素晴らしい人たちがいる場所でした。



今後の目標を教えてください。

次の目標は、2年後のパリパラリンピックでの金メダル獲得です。

日本選手権や国際大会など一つ一つ勝ち続けていった結果がパリでの金メダルだと思うので、しっかり勝ち続けていきたいです。

愛知県の未来のアスリートにメッセージをお願いします。

スポーツには

- ☆ 見てくれる人に勇気や感動を届ける力がある
- ☆ 人生を輝かせる力がある

と思います。

その力を私はパラリンピックスポーツのボッチャを通じて、これからも伝えていきたいです。

あなたの夢はなんですか。目標はありますか。

私たちがスポーツの力を！魅力を！！日本の！世界の！！人たちに！！！！愛知から一緒に伝えていきましょう。

みなさん、

ボッチャ競技や愛知県選手への応援を
よろしく願いいたします！



担当：愛知県スポーツ局競技施設課

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課「aispo!Do!」

<https://aispo-do.jp/>